

(1)

公益財団法人 藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター



第241号



2026年（令和8年）1月発行
（公財）藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター
藤沢市鵠沼神明1丁目3番18号
藤沢市生きがい福祉センター内
電話 0466（27）1100

もやいとは、人と人をつなぎ付けること（共働・共助）

「山梨県 山中湖より」



八島 逸

新年のご挨拶

理事長 斎藤隆久

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様、ご家族の皆様、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、世界各地で紛争が発生する中、米国において第2次トランプ政権が発足し、様々な対応が求められております。また国内では、初の女性総理となった高市自派連立政権が誕生し、まさに千変万化の世となっております。

さて、今年の干支は「午（うま）」で、「午（馬）」は、その力強く駆ける姿から、開運、勝負運や武運長久といったご利益があるとされております。

本協会におきましても、人生100年時代を見据え、高齢者等が就業を通じて地域社会に貢献し、生きがいや居場所づくりとしての重要な役割を担うなかで、シルバー人材センター・生きがい就労センターの行う諸事業を、地域の特色や実情を踏まえまして、より一層前進させる所存でございます。

また、安全就業に関する取組の徹底により事故撲滅を目指すことや、フリーランス新法の施行に伴うシルバー事業における新たな契約方法への円滑な移行を図るとともに、全国シルバーが重点課題として掲げている、女性会員の拡大、退会抑制、80歳を超えても活躍できる就業環境の整備、デジタル化の推進などにつきましても、積極的に取り組んでまいります。

皆様におかれましては、飛躍の年となりますようお願いたします。皆様方の益々のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

みんなの海をきれいにしよう ビーチクリーンを 実施しました

全国シルバー人材センター事業協会では、毎年10月をシルバー人材センター事業普及啓発促進月間と定めています。このため全国のシルバー人材センターでは、会員の加入促進、就業拡大の展開、ボランティア（清掃等）などの社会奉仕活動、各種イベントへの参加等の事業が実施されました。

（公財）藤沢市まちづくり協会シルバー人材センター並びに生きがい就労センターでもこの機に合わせ、各事業の普及啓発活動と会員の社会参加推進事業を兼ねて、昨年の10月に片瀬西浜海岸において、恒例のビーチクリーンのボランティア活動を実施しました。



当日の朝は曇り空で、雨の心配もありましたが、開始時間には心配した雨もなく、心地よい海風が吹く中、気持ちよく作業に取り掛かれました。

ここ数年は

観光客や海水浴客が増え、ビーチのごみも増えているかと心配しましたが、細かいごみは有るものの目立ったごみは少なく感じました。

藤沢市のボランティア情報サイト、チームF U J I S A W A 2020をご覧になって参加された一般の方や会員の方々、協会職員等を交えて実施し、親睦も図ることができました。

藤沢市まちづくり協会の斎藤理事長の挨拶の後、みんなで細かい色々なごみを丁寧に拾い集め、可燃、不燃ごみの袋に分別しながら収集が行われ、1時間ほどでビーチクリーンは目的を達成し終了しました。

最近には特に少子高齢化による様々な人手不足が深刻となり、シルバー人材センターに対する社会的要請や現役世代の下支え、地域における存在意識も高まってきています。この期待に応えるために、会員の確保や就業開拓等、事業発展に向けてより一層の努力を今後も続けてまいります。



秋のお祭りに参加しました

昨年10月に地域文化の祭典「湘南台まつり」と「鶴沼地区市民センターまつり」に参加しました。さまざまなサークル・地域団体が日頃の活動の成果を披露していました。

生きがい就労センターも出店を行い、障がい者会員さんが作ったデコパージュ石鹸や松ぼっくりツリー、その他の会員さんが作ったエプロン等の洋裁小物の展示販売を行いました。

湘南台まつりは、あいにくの雨模様で来場者が例年に比べて少ない状況でしたが、鶴沼地区市民センターまつりは、天候にも恵まれて家族連れや友人同士等、多くの方々のご来場があり、手作り品をご購入いただきました。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。



技能講習会

昨年10月に生きがい就労センターで技能講習会が開催され、洋裁の会員さんは防災頭巾、障がい者の会員さんはデコパージュ石鹸・ろうそく立て作りに挑戦しました。

洋裁においては、ベテランの会員さんが講師を務め、他の会員さんに実技を交えて指導されていました。生地のカットから綿入れまでミシンやハサミ、アイロンを使っての細かい作業のため、2日に分けて完成させました。特に綿入れが大変で、綿が飛ぶことから、窓を開けてみんなで一緒に綿を入れて仕上げました。実際の商品としては、防災頭巾を入れる袋も一緒に作ります。



防災頭巾作り



デコパージュ石鹸作り

春前には、小学校に入学される方々から防災頭巾の依頼が入って忙しくなりそうです。今回の講習会の経験を活かし、皆さんで協力して防災頭巾作りに取り掛かるようです。2日間楽しい雰囲気での講習会でした。

障がい者会員の皆さんは、講師を務める職員が説明した後、敷き紙、カップ、箱、のり等、各々準備してラベンダーとオレンジの香りの石鹸の上に色々な模様の紙を貼り付けて仕上げました。それぞれ好きな形の紙を選んで貼り付け、中には一人で3つも4つも作る会員さんもありました。ろうそく立ては、ガラスの容器に紙を貼り付けて仕上げ、1時間半程で講習会が終わりました。皆さんとても楽しそうに作っていました。

企業見学とリス園に行きました



町田リス園

昨年11月に生きがい就労センターの障がい者会員の皆さんがクリクラ町田工場見学と町田リス園に行きました。今回は貸し切り大型バスを利用し、当日は朝から晴れて暖かく高速道路から富士山が綺麗に見えました。

クリクラ町田工場へは、途中休憩を取りながら2時間程で着きました。クリクラはウォーターサーバーの会社で、工場内でクリクラの水を作る工程の説明を受けたり、世界の珍しい水を集めたギャラリーを見学したり、軟水と硬水の違いを試す実験にも、皆さん興味

深そうに参加していました。工場見学後に昼食をとり、町田リス園にバスで移動しました。リス園では、放し飼いのリスに餌をあげたり、リスと戯れたりして楽しいひと時を過ごし、無事に企業見学を終えることができました。

天候にも恵まれ会員相互の親睦も図ることができ、大変有意義な1日となりました。



クリクラ町田工場

会員の活動紹介

第150回 史跡歩き同好会

山本 伸哉

境川を江の島方面へ向かう途中に馬喰橋^{うまぐしはし}があります。この橋のすぐ横に由来の看板があり、それにより「源頼朝が片瀬川に馬の鞍を架けて橋の替わりにしたこと」から馬鞍橋。また、昔馬がこの橋にさしかかるといふなき突然死んでしまうことから「馬殺橋」と呼ばれたが、ある時に行者聖が橋の石を取り替えてから災難はなくなつたと伝えられています」と記されていました。

さらに江の島方面に歩きますと、左手側に各お寺が見受けられました。この道は江戸時代の頃、江の島参詣の往来でにぎわつたと言われています。江の島に近づく途中に江の島弁財天道標の案内と石碑があります。この石の道標は、三面に「従是右江嶋道」「左龍口道」「願主江戸糶町」と彫られていました。そしてこの先の「すばな」通りを過ぎ、江の

島へとつづきます。
景色もかわつて、良い史跡歩き会になりました。



川柳・五行歌便り

若林 琢磨

明けておめでとうございませう。今年もステキな名句(迷句)を皆様にお届け致しますので、よろしくお願い申し上げます。
『ママゴン、あけましておめでとう。ことしもいっぱいおいしいものたべようね』
「おめでとう。相変わらず食べる事はつかりだね、お花は」
『さっそくだけど、クレームダンジュたべたい』
「ほら来た。訳の分らない横文字。クレープなら作ってあげる」
『やっぱ家を出る。由伸君とけっこうんする。お話しコロツとかわるけど、じいじとおばば、ぶじにかえって来てよかったね』
「なんと、熱海に行つて来たんだつてさ」
『もも子おばちゃんも足こし良くなつたつてさ。お年玉もらいにまた行こうね』
「お花さあ、お正月なんだから、ステキな一句詠んでよ」
『いいわよ。◎正月も 三日過ぎれば 普通の日 どう、名句でしょ』
「だめー、三〇点」
史跡歩き、川柳・五行歌にご興味のある方は、事務局までご連絡ください。

川柳

句題『お正月』

初詣混雑さけて三日前

《太郎》

腹八分良い事ありそ餅五つ

《裕助》

三が日ビール日本酒寝正月

《もも子》

お正月家族集まる年一度

《ママゴン》

五行歌

選者 若林 琢磨

伊豆諸島を襲った

大相撲

台風二つ

ロンドン公演

被害に合われた皆様

大盛況

正月を迎える事が

さあ次は

出来たのかしら

箱根駅伝だ

もも子

亀さん

(皆様からの旅行記等記事を募集中です!!)